

厚労省に対する要望

回答人数:119名

休業支援金／雇用調整助成金等

事業について

- 経済的支援の継続を希望 (12件)
 - ◇ 申請方法、支給要件を簡略に。早急な支援の実施を求む (4件)
 - ◇ 現在の「新型コロナ対応休業支援金」の制度をインバウンドがある程度回復するまで延長してほしい (4件)
 - ◇ その他 (4件)
 - 派遣労働者への休業支援金の交付措置を続けていただきたい。
 - 休業補償の割合を、給与の7～8割程度まで上げてほしい。
 - 雇用調整助成金の支給率を当面現行のものを維持。
 - ガイド業については、お客様がゼロの状態が丸2年続いており、収入の面でも気力の面でも、大変厳しく、転職も考えざるを得ない状況。そうならないよう今後とも支援金などでバックアップいただければ大変に助かる。

受給金額

- 最低保障 100万円
- 100万円では不十分。とっくに底を尽いた。

その他の措置による支援金

要望

- インバウンド(通訳案内業)への支援 (20件)
 - ◇ 休業支援金に関しては本業の時短要請の方であり、通訳、翻訳、ガイドの部分は申請できなかった。その部分の収入減も助けてもらえるとありがたいです。
 - ◇ 雇用調整助成金が、通訳案内士でも受給できるのであれば、その旨明らかにして頂きたく、過去に遡及して受給できるようにして頂きたい。
 - ◇ 2020年初頭からガイドとしての収入ほぼ「ゼロ」の状態が続いている。インバウンドの復活も目途が立っていない。「今」何らかの支援がないと、今後ガイドの仕事の継続は困難となると思われる。
 - ◇ 飲食業よりも厳しい立場にいることを理解してほしい。通訳案内士は、外国人観光客の入国規制が緩和されるまでは仕事がない。
 - ◇ インバウンド復活にはまだ時間がかかる。その間の給付金は必須。
- 給付対象 (8件)

- ◇ 失業保険も雇用調整助成金もない個人事業主・フリーランス(白色申告)へもっと理解を。(3件)
- ◇ 助成金や各種資金が、速やかに必要なところへ給付されるように。(3件)
- ◇ その他(2件)
 - 扶養範囲内で働く人にも救済を。
 - 不正受給を徹底的に無くしてほしい。

その他

- 政府による入国制限に因り、外国人が入国できない中、通訳ガイドを本業とする者は就業の機会を失い大変な苦境に立たされている。国策により、国を閉ざしている中、通訳ガイドへのより手厚い支援を求める(2件)
- 日本国民をコロナウイルスから守るために国境を閉鎖することはやむを得ないかもしれないが、そのために収入を絶たれた何千、何万の人がいることを忘れないでほしい。私たちが生活できなければ、生活保護に頼る人も増える。国境閉鎖による減収も補償の対象とするべきだ。
- これまでも生活できるかぎりぎりの状態での収入だったがコロナ禍でそれに拍車がかかった。何とか考えて欲しい。
- コロナ蔓延中およびアフターコロナの後遺的状况が残る一定期間において、いくらかでも収入減を緩和する制度の制定を切に希望。
- 持続化給付金、事業復活補助金などの運用・査定において、感染対策の一環として無理な経済活動を抑止する様な問題が発生せぬ様、経産省・税務署(国税当局)が、連携して柔軟な救済策をとる様に働きかけて頂きたい。
- 2年間通訳ガイドとしての収入はなく、このままでは廃業せざるを得ない。今は様々なアルバイトで収入を得てる。給付金は一切受け取れてない、不合理性を感じる。
- 雇用調整助成金という名前が個人事業主には判りづらかった。もっと実態に即した分かり易い制度として欲しい。
- 月次支援金で不正は一切行っていないにもかかわらず、不備ループに陥ってしまいました。中小企業庁と同じ失態を繰り返さぬよう、個人事業主や中小企業が事業をしっかりと復活できるよう支援体制を整えていただきたい。

社会保障

国民保険／社会保険等

- 通訳案内士の社会保障(8件)
 - ◇ 飲食店や国内の旅行業に比べてインバウンド関連しか仕事がない通訳案内士の苦しい状況を理解し、廃業せずに済むよう十分な雇用補償等の保障をして欲しい。(2件)
 - ◇ フリーランスを半端な職業と見なさずちゃんと救済し、セーフティーネット(失業保険等最低限の生活保障)にももっと目を向けてもらえると有難い。(4件)
 - ◇ その他(2件)
 - 市区町村の国民年金保険税の減免の条件について、私の市では、令和3年は令和2年の収入からの減額で判断となり、コロナにより令和2年の収入がなかった私は減額とみな

されず、減免を受けられなかった。収入のあった（コロナ前の）令和元年の収入からの減額も判断の対象とすべきなので、全国の市区町村にご指導願いたい。

- 不安定な状況を下支えするベーシックインカムを検討していただけるとありがたい。（年間何日以上ガイドとして働いたという実績から申請できるような）

➤ 保険料の減免 (3 件)

- ◇ コロナ禍期間中の国民年金、国民健康保険の減額措置を検討してほしい。(2 件)
- ◇ 個人事業主として無収入にも関わらず年金・健康保険料等が重く課せられることが苦しい。

➤ その他

- ◇ パートでも社会保険に入るようになった。収入を増やすため副業として通訳案内士業務を増やしたかった。がコロナ禍の影響でパートの仕事も激減した。立場上どのジャンルに申請ができなかったただ生活費、税金の支払いに苦しむだけだった。こういう立場の人もいる。助けて欲しい。結果メインのパートの仕事は春で雇用止め。そのような状況から、税金保険の支払いを抱えたまま雇用止めされる。来年度かなりきびしい低所得で税金が払えるか健康診断にお金を払えるかわからない状態。厚生年金にも入れない。将来が不安。こんな人は日本に五万といる。なんとかして欲しい。

職業／就業支援

➤ 通訳案内士を活用した就業支援 (10 件)

- ◇ インバウンドに特化した職業支援策を講じていただきたい。(3 件)
- ◇ フリーランス対応を柔軟に実施してほしい。会議通訳、通訳案内士応用の考慮を望む。

活用の具体例 (6 件)

- 博物館などの公的団体での雇用
- 全国通訳案内士を主要駅・空港・観光案内所等に配置義務化する法案策定
- 昨年度から文科省学習指導要領改訂で、中学英語が難しくなったことを受け、通訳案内士も特例的に学校教育サポーターとして、小中高の英語指導に参加できるような法案の策定。
- 通訳案内業に限定することなく、サービス、語学の有能な人材として活用する仕組みを構築。省庁横断的に人材活用対策のための部署を設立してはどうか。
- 語学を活かした他の仕事を掘りおこすために、企業へ助成金をつけて雇用を促進。また、成人の語学力をアップするために、企業へ助成金をつけて、語学講師の派遣を促進する政策の企画。
- 観光案内所や自治体の観光課に通訳案内士ガイドが観光コンテンツの研究開発を目的とする勤務環境を整備し、給与にて支援する。

➤ 教育訓練給付金制度 (4 件)

- ◇ 教育訓練給付制度の支給対象を、雇用保険のないフリーランスにも広げてほしい。
- ◇ スキルを向上させるために、教育訓練給付制度の対象を、自営業にも拡大してほしい。
- ◇ インバウンドがなくなるとはや 2 年、通訳案内士として活動したくてもできない状況をなんとかしたいと思うが、研修に出るにもお金がかかり、出ていく一方です。他の仕事をするこ

とを余儀なくされて、正社員などは望めない。いつ復活するかと待っているのでパートで繋いでいる。英語力が落ちないようにと、またスキルアップの研修代などの資金補助制度があると良い。

- ◇ インバウンドの拡大時には重要国策として盛り上げるだけ盛り上げる一方、コロナ期突入以降その重要要素のはずのライセンス所持ガイドに対する支援は一切感じられません。仕事のない期間にできる研修、関連資格取得、および必要な IT 機器やソフトウェア投資などガイドとしての前向きなアクションについて積極支援をお願いしたい。

感染症対策

➤ 訪日客対応 (9 件)

- ◇ 外国人へのコロナ対策の厳密化、日本人と同じにして欲しい。
- ◇ 訪日観光客に対し、マスク着用や食事の際の感染予防マナーなどについて旅行会社があらかじめ提示することを規則化できるとありがたい。通訳案内士の個人的なお願いではなく、国が決めたこととして相手に話すことができれば、お客様にもすんなり納得していただける。そうでなければ、マスクを着用しない習慣のお客様にレストランでマスク着用を促すのは難しく、今後仕事を受けるのに不安を感じる。
- ◇ 入国する外国人に対して入国後国内ではマスク着用など入国後の感染予防を徹底するよう周知していただきたい。日本人がいくら頑張っても感染予防をしても訪日外国人が広めることでインバウンドのイメージが悪くなる。
- ◇ 正式なインバウンド対応のガイドとして認定され・訪日観光時の、感染症対策、安全対策がしっかりできるガイドとして紹介（研修も含む）していただき、外国からの旅行者が安心して訪日観光を楽しめるように環境を整備してほしい。
- ◇ より効果的な感染拡大押さえ込みの措置、外国人旅行者が、医療を受けやすい体制を検討して頂きたい。
- ◇ コロナ感染症の成り行きを的確に判断して海外からの訪問者に対してもある程度柔軟性を持って対処して頂きたい。
- ◇ コロナ禍後も、海外からの旅行者に対して安心してガイドができるよう、入国時の検査体制をしっかり維持していただきたい。
- ◇ コロナと経済の両立を図る方策を、日本の世論が受け入れに納得するような形で示してほしい。
- ◇ 海外からの入国に関して、ビジネス客の早期開放。（隔離期間の短縮）

➤ 感染防止ガイドライン (2 件)

- ◇ 旅行や移動に気兼ねなく行けるように with コロナのガイドラインの周知徹底
- ◇ インバウンド再開に備え、新型コロナ患者発生時における対応マニュアルを作成してほしい。

➤ その他 (7 件)

- 感染症対策の主管官庁として、より強力なコロナ対策
- コロナオミクロン株に関しての入国規制解除の時期の見解を示して頂きたい。
- コロナ対策全般にわたり、世界を観察しつつ精査して対処して頂きたいです。

- 感染対策の一環として、関係省庁の一層の連携により無理な経済活動を抑止する柔軟な対策を働きかけてほしい。
- 新型コロナの変異に伴う疾患の変化（軽症化、肺炎等注意する疾患への対応）に伴った適切な対応（コロナ感染症分類変更等）とその説明を迅速に公開してほしい。
- 水際対策を完璧にして、市中感染を防止してほしい。
- 新型コロナに対する情報提供を強化してほしい。

ワクチン／PCR 検査／薬

➤ ワクチン (8 件)

- ◇ 早期のワクチン(ブースター接種)の普及 (5 件)
- ◇ 外国人を相手に仕事をする点では、かなり危険な面があるので外国人の入国制限が解除されたら、すぐに就業できるよう、通訳案内士も優先的にワクチンを受けられるようご検討頂きたい。(医療・介護従事者の次のレベルの優先順位とするように) (2 件)
- ◇ その他 (1 件)
 - 緊急事態にならないよう、ワクチン接種など、必要な対策を進めほしい。

➤ PCR 等検査 (2 件)

- ◇ まずは新型コロナ感染者を増やさないように、また感染者の自主隔離を確実にするために PCR 検査の対象者を、発熱者に限らず拡大し、かつ無料で検査できるように望む。

➤ 薬 (6 件)

- ◇ 安全性の高い日本の新薬開発。早期の治療薬の承認と普及。今後の見通し等提示し、コロナにかかることを前提とした対処法へ舵取りを願う。

➤ その他 (5 件)

- ◇ 感染対策への補助。エージェントへの補助でもいい。
- ◇ 医療体制整備も先手先手で。
- ◇ 早くコロナを終息させて欲しい。
- ◇ 必要以上にコロナ感染を警戒しないで欲しい。
- ◇ コロナ後遺症やコロナ根治（日和見感染？）などの対応、感染に因る脳幹への影響の病理の解明と中国のような変異株感染の封じ込め

周知活動／情報発信を徹底(アピール) (4 件)

その他の意見

- 何事にも速やかな対応を望む。組織の近代化を望む。
- やむを得ず、成功報酬業務に切り替えているのが現状だが、こうした人が不利にならないようにしてもらえるとありがたい。

- 全世界的にワクチンと治療薬が必要な人に回る様にならないと、インバウンドもアウトバウンドも回復しないのは充分理解している。遠回りだが、そのためにも税金の無駄を無くして、優先すべき所に回して欲しい。
- 国家試験合格後に活躍したいと願っていたが、そもそも、仕事の依頼そのものがないため、働きようがない。これでは生活もままならないので、通訳案内士は断念して他の仕事に就かざるを得ない。何とか助けてほしい。
- 昨年通訳案内士の資格を取ったばかり。コロナ禍でまだ就労の機会はないが、インバウンドが回復した場合、安心して働けるよう、制度の整備をお願いしたい。
- はっきり言って観光業に対する期待がないようで、資金の援助がなさすぎである。
- 官邸や日本の行政に対する国民の信頼度は著しく低下していると感じる。厚労省も例外ではない。ただし、日夜の激務をこなされている多数の一般職員方々には心から敬意を表する。
- どの省庁に何を要望するかさえも分からない。
- 通訳案内士の資格を有しない外国人が、低価格で低レベルの通訳に従事し、正式な有資格者の仕事を圧迫している。この中には資格外活動も含まれており、不法就労助長罪を構成するものもある。このままでは、「通訳案内士試験」の存在価値が問われることにもなるので、無資格者の通訳業に一定の制限を設けて欲しい。

以上